

令和 5 年度

授業シラバス・年間指導計画

英語（3年）

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ (C 英語Ⅲ・L)		4	普通科文系	3
履修形態	授業形態		指導者名		
全	一斉授業・習熟度別授業		英語科		

教科書（発行所）	Grove English Communication III New Edition (文英堂)
教科書以外の教材（発行所）	Grove English Communication III New Edition WORKBOOK (文英堂) Cutting Edge Green (EMILE 出版)

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようとする。
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 聞いたり読んだりしたことを、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 聞いたり読んだりしたことを、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。

定期考查	出題方針	教科書・副教材の内容を中心に、問題集、教材プリントなどから出題する。
	範囲(予定)	第1回 Grove English Communication III : Lesson20~23
		第2回 Cutting Edge Green : Lesson1~6
		第3回 Cutting Edge Green : Lesson7~12
		第4回 Cutting Edge Green : Lesson13~18
	年度末考查	

評価の観点・評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 具体的な評価は、定期考查を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。
-------------	---

先生からアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)	徹底的に反復学習する。予習・授業・復習という学習スタイルが入試を攻略する英語力につながります。すぐに辞書に頼らずに、入試さながらに、まずは、自力のみで英文を読む習慣をつけましょう。速読、パラグラフリーディングなど、多量の英文を速く正確に読み、要旨をつかむ練習をしていきましょう。
--------------------------------------	---

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
前期	4	L20	New Energy: Algae to Oil	4	石油に変わるエネルギーとして研究が進んでいる藻の利点や課題、将来の展望について読み、理解する。
		L21	Grandmothers as Solar Engineers	4	ペアフットカレッジの精神とその活動について読み、理解する。
	5	L22	The Sagrada Familia	4	世界的に有名な建築中の教会サグラダファミリアと、その建築科のガウディの思想について読み、理解する。
		L23	Robot Farming	4	世界で初めてに本に作られたロボット農場の運営や利点について読み、理解する。
	第1回考査				
	6	L1	食事と CO2	4	肉の消費が環境に被害を与える可能性について読み、理解する。
		L2	必要水分量	4	水分の適量を示した指針への誤解について読み、理解する。
	7	L3	英語の変遷	4	数世紀の間に英語の発音やつづり、語彙などすべてが変化してきたことについて理解する。
		L4	トランスピューマン	4	頭脳クローニング技術によって人間がデジタル的に不死身になることについて読み、理解する。
	8	L5	絶滅危惧種の選定	4	乱獲により絶滅したクアッガの再生計画について読み、理解する。
		L6	嘘も方便	4	もめごとを避けるためには、眞実を主張するより嘘をつく方がよい事例を読み、理解する。
第2回考査					
後期	9	L7	火の制御とその効果	4	人間が火の制御を覚えたことで長距離を走れるようになった理由を理解する。
		L8	自動投薬装置	4	薬を直接体内に投与できる埋め込み式無線制御装置について読み、理解する。
	10	L9	生活賃金	4	生活賃金が地域経済にもたらす影響について読み、理解する。
		L10	7,000 マイル	4	チャットで助けを求めた女性を救うための国際協力について読み、理解する。
	11	L11	サンゴ礁	4	不毛な熱帯の海で、生態系全体を養っているサンゴ礁の働きについて読み、理解する。
		L12	緑色の血液	4	ニューギニアのトカゲが黄緑色の血液を獲得した理由について読み、理解する。
第4回考査					
後期	12	L14	アフリカのブランド商品	4	近年経済成長を遂げたアフリカで、グローバル企業の商品が一般的になりつつある現状を理解する。
		L14	豪華客船の沈没	4	タイタニック号が沈没した原因についての新説を読み、理解する。
	11	L15	教育と報酬	4	子供のしつけのため罰ではなく報酬を与えることは非について読み、理解する。
		L16	文明の隆盛	4	国家の人口の変化が歴史に与える大きな影響について読み、理解する。
	12	L17	睡眠の常識	4	かつて2回に分けて眠っていた人々が一続きの睡眠を取るようになった理由について読み、理解する。
		L18	幸福感	4	収入が増えても、人々が以前より幸せになっていない理由について読み、理解する。
第4回考査					
1		大学入学共通テスト対策演習		68	入試標準レベルの英文読解力を養成する
		総時間数		156	

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ (R)		4	普通科文系	3
履修形態	授業形態		指導者名		
全	一斉授業・習熟度別授業		英語科		

教科書（発行所）	Grove English Communication III New Edition (文英堂)
教科書以外の教材（発行所）	Heart & Mind (エスト出版) その他、大学入試対策問題集

目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようとする。

学習のねらい

- 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。
- 聞いたり読んだりしたことを、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合うなどして結論をまとめる。
- 聞いたり読んだりしたことを、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。

出題方針	授業で扱った内容を中心に、理解や技能などを確認する出題をする。4		
定期考査	第1回	Heart & Mind : Lesson 12 ~ 16	
	第2回	Heart & Mind : Lesson 17 ~ 20	
	第3回	Heart & Mind : Lesson 21 ~ 22 大学入学対策演習	
	第4回	大学入学対策演習	
	年度末考査		

評価の観点・評価の方法

- 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。
- 具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。

先生からアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)

徹底的に反復学習しましょう。予習・授業・復習という学習スタイルが入試を攻略する英語力につながります。すぐに辞書に頼らずに、入試さながらに、まずは、自力のみで英文を読む習慣をつけましょう。速読、パラグラフリーディングなど、多量の英文を速く正確に読み、要旨をつかむ練習をしていきましょう。

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
4	5	L12_Stop and Smell Roses	4	論理的思考力を高める	
		L13_Stop and Smell Roses	4	論理的思考力を高める	
		Review & Extra-activity	3	技能チェック	
		L14_A Bike Ride	4	論理的思考力を高める	
		Review & Extra-activity	3	技能チェック	
	6	L15_Nazi Death Camp	4	論理的思考力を高める	
		L16_Stress	4	論理的思考力を高める	
		Review & Extra-activity	3	技能チェック	
	第1回考査				
	7	L17_Expectation①	4	論理的思考力を高める	
6		L18_Expectation②	4	論理的思考力を高める	
		Review	3	技能チェック	
		Extra-activity	3	即興性を高める	
		L19_Mind-set①	4	論理的思考力を高める	
		Review	3	技能チェック	
		Extra-activity	3	即興性を高める	
		L20_Mind-set②	4	論理的思考力を高める	
		Review	3	技能チェック	
		Extra-activity	3	即興性を高める	
	第2回考査				
7	8	L21_Empathy①	4	論理的思考力を高める	
		L22_Empathy②	4	論理的思考力を高める	
		Review	3	技能チェック	
		Extra-activity	3	即興性を高める	
8	10	大学入試対策演習	38	入試標準レベルの英文読解力を養成する	
	第3回考査				
	11	大学入試対策演習	37	国公立二次試験レベルの英文読解力を養成する	
	第4回考査				
9	12	大学入試対策演習	4	国公立二次試験レベルの英文読解力を養成する	
	総時間数		156		

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ (C 英語Ⅲ・L)		3	普通科理系 理数科	3
履修形態	授業形態		指導者名		
全	一斉授業・習熟度別授業		英語科		

教科書（発行所）	Grove English Communication III New Edition (文英堂)
教科書以外の教材（発行所）	Grove English Communication III New Edition WORKBOOK (文英堂) Cutting Edge Green (EMILE 出版)

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようとする。
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 聞いたり読んだりしたことを、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 聞いたり読んだりしたことを、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。

定期考查	出題方針	教科書・副教材の内容を中心に、問題集、教材プリントなどから出題する。
	範囲（予定）	第1回 Grove English Communication III : Lesson20~23
		第2回 Cutting Edge Green : Lesson1~6
		第3回 Cutting Edge Green : Lesson7~12
		第4回 Cutting Edge Green : Lesson13~18
	年度末考查	

評価の観点・評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 具体的な評価は、定期考查を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。
-------------	---

先生からアドバイス（予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など）	徹底的に反復学習する。予習・授業・復習という学習スタイルが入試を攻略する英語力につながります。すぐに辞書に頼らずに、入試ながらに、まずは、自力のみで英文を読む習慣をつけましょう。速読、パラグラフリーディングなど、多量の英文を速く正確に読み、要旨をつかむ練習をしていきましょう。
--------------------------------------	--

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
前期	4	L20	New Energy: Algae to Oil	3	石油に変わるエネルギーとして研究が進んでいる藻の利点や課題、将来的展望について読み、理解する。
		L21	Grandmothers as Solar Engineers	3	ペアットカレッジの精神とその活動について読み、理解する。
		L22	The Sagrada Familia	3	世界的に有名な建築中の教会サグラダファミリアと、その建築科のガウディの思想について読み、理解する。
		L23	Robot Farming	3	世界で初めてに本に作られたロボット農場の運営や利点について読み、理解する。
	第1回考查				
	6	L1	食事とCO2	3	肉の消費が環境に被害を与える可能性について読み、理解する。
		L2	必要水分量	3	水分の適量を示した指針への誤解について読み、理解する。
		L3	英語の変遷	3	数世紀の間に英語の発音やつづり、語彙などすべてが変化してきたことについて理解する。
		L4	トランシスヒューマン	3	頭脳クローン技術によって人間がデジタル的に不死身になることについて読み、理解する。
	7	L5	絶滅危惧種の選定	3	乱獲により絶滅したクアッガの再生計画について読み、理解する。
		L6	嘘も方便	3	もめごとを避けるためには、眞実を主張するより嘘をつく方がよい事例を読み、理解する。
		第2回考查			
		L7	火の制御とその効果	3	人間が火の制御を覚えたことで長距離を走れるようになった理由を理解する。
	8	L8	自動投薬装置	3	薬を直接体内に投与できる埋め込み式無線制御装置について読み、理解する。
		L9	生活賃金	3	生活賃金が地域経済にもたらす影響について読み、理解する。
		L10	7,000マイル	3	チャットで助けを求めた女性を救うための国際協力について読み、理解する。
		L11	サンゴ礁	3	不毛な熱帯の海で、生態系全体を養っているサンゴ礁の働きについて読み、理解する。
	9	L12	緑色の血液	3	ニューギニアのトカゲが黄緑色の血液を獲得した理由について読み、理解する。
		第3回考查			
		L13	アフリカのブランド商品	3	近年経済成長を遂げたアフリカで、グローバル企業の商品が一般的になりつつある現状を理解する。
		L14	豪華客船の沈没	3	タイタニック号が沈没した原因についての新説を読み、理解する。
	10	L15	教育と報酬	3	子供のしつけのため罰ではなく報酬を与えることは非について読み、理解する。
		L16	文明の隆盛	3	国家の人口の変化が歴史に与える大きな影響について読み、理解する。
		L17	睡眠の常識	3	かつて2回に分けて眠っていた人々が一続きの睡眠を取るようになった理由について読み、理解する。
		L18	幸福感	3	収入が増えても、人々が以前より幸せになっていない理由について読み、理解する。
	第4回考查				
	11	大学入学共通テスト対策演習		51	入試標準レベルの英文読解力を養成する
		総時間数		117	

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ (R)		3	普通科理系・ 理数科	3
履修形態	授業形態		指導者名		
全	一斉授業・習熟度別授業		英語科		

教科書（発行所）	Grove English Communication III New Edition (文英堂)
教科書以外の教材（発行所）	Heart & Mind (エスト出版) その他、大学入試対策問題集

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。											
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 聞いたり読んだりしたことを、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて話し合うなどして結論をまとめる。 聞いたり読んだりしたことを、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 											
定期考査	出題方針	授業で扱った内容を中心に、理解や技能などを確認する出題をする。4										
	範囲(予定)	<table border="1"> <tr> <td>第1回</td> <td>Heart & Mind : Lesson 12 ~ 16</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>Heart & Mind : Lesson 17 ~ 20</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>Heart & Mind : Lesson 21 ~ 22 大学入学対策演習</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>大学入学対策演習</td> </tr> <tr> <td>年度末考査</td> <td></td> </tr> </table>	第1回	Heart & Mind : Lesson 12 ~ 16	第2回	Heart & Mind : Lesson 17 ~ 20	第3回	Heart & Mind : Lesson 21 ~ 22 大学入学対策演習	第4回	大学入学対策演習	年度末考査	
第1回	Heart & Mind : Lesson 12 ~ 16											
第2回	Heart & Mind : Lesson 17 ~ 20											
第3回	Heart & Mind : Lesson 21 ~ 22 大学入学対策演習											
第4回	大学入学対策演習											
年度末考査												
評価の観点・評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。 											
先生からアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)	徹底的に反復学習しましょう。予習・授業・復習という学習スタイルが入試を攻略する英語力につながります。すぐに辞書に頼らずに、入試さながらに、まずは、自力のみで英文を読む習慣をつけましょう。速読、パラグラフリーディングなど、多量の英文を速く正確に読み、要旨をつかむ練習をしていきましょう。											

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
4	5	L12_Stop and Smell Roses	3	論理的思考力を高める	
		L13_Stop and Smell Roses	3	論理的思考力を高める	
		Review & Extra-activity	3	技能チェック	
		L14_A Bike Ride	3	論理的思考力を高める	
		Review & Extra-activity	2	技能チェック	
	6	L15_Nazi Death Camp	3	論理的思考力を高める	
		L16_Stress	3	論理的思考力を高める	
		Review & Extra-activity	2	技能チェック	
		第1回考査			
	7	L17_Expectation①	3	論理的思考力を高める	
6		L18_Expectation②	3	論理的思考力を高める	
		Review	2	技能チェック	
		Extra-activity	2	即興性を高める	
		L19_Mind-set①	3	論理的思考力を高める	
		Review	3	技能チェック	
		Extra-activity	3	即興性を高める	
		L20_Mind-set②	3	論理的思考力を高める	
		Review	2	技能チェック	
	7	Extra-activity	2	即興性を高める	
		第2回考査			
8	8	L21_Empathy①	3	論理的思考力を高める	
		L22_Empathy②	3	論理的思考力を高める	
		Review	2	技能チェック	
		Extra-activity	2	即興性を高める	
10		大学入試対策演習	28	入試標準レベルの英文読解力を養成する	
		第3回考査			
	11	大学入試対策演習	28	国公立二次試験レベルの英文読解力を養成する	
		第4回考査			
	12	大学入試対策演習	3	国公立二次試験レベルの英文読解力を養成する	
総時間数			117		

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次
外国語	英語表現Ⅱ (L)		2	普通科 理数科	3
履修形態	授業形態		指導者名		
全	一斉授業・習熟度別授業		英語科		

教科書（発行所）	Vision Quest English Expression II Hope (啓林館)
教科書以外の教材（発行所）	アップリフト英作文(ゼミ会)

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。		
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。 		
定期考査	出題方針	教科書・副教材の内容を中心に、問題集、教材プリントなどから出題する。	
	範囲（予定）	第1回	アップリフト英作文(ゼミ会)
		第2回	アップリフト英作文(ゼミ会)
		第3回	大学入学対策演習
		第4回	大学入学対策演習
		年度末考査	
評価の観点・評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。 		
先生からアドバイス（予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など）	必ず事前に予習をすること。その時、日本語から「言いたいこと」を考え、場面にあった英文を書くように心がけること。授業では、間違った点を「なぜ使えないのか」ということをしつかり理解しながら、他の表現についても学習します。何度も音読暗写をし、力をつけていきましょう。		

年間授業計画表						
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント	
前	4	6	修飾（関係詞節/分詞）	16	表現別に英語を書けるようにする	
		7	修飾（不定詞/同格）			
		8	時制の決定			
		9	時制（完了形とその進行形）			
		10	助動詞の用法			
		11	受動態の表現			
		12	比較の表現（1）			
		13	比較の表現（2）			
	5	14	時の表現			
		15	目的に関連する表現			
		16	原因・理由の表現			
		第1回考査				
		17	仮定・条件の表現	17	表現別に英語を書けるようにする	
		18	否定の表現			
		19	譲歩に関連する表現			
		20	程度・結果			
	大学入試対策演習					
期	7	第2回考査				
		8	大学入試対策演習	6		
		9				
		10	大学入試対策演習	3		
	11	第3回考査				
		11	大学入試対策演習	18		
		12	センター試験対策			
		第4回考査				
	後	12	センター試験対策	18		
		大学入試対策演習				
		13				
		14	年度末考査			
総時間数			78			

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次
外国語	英語表現Ⅱ (英語表現Ⅱ・R)		2	普通科 理数科	3
履修形態	授業形態		指導者名		
全	一斉授業・習熟度別授業		英語科		

教科書（発行所）	Vision Quest English Expression II Hope (啓林館)
教科書以外の教材（発行所）	Write it Right (数研出版)

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。					
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 ・主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものについて、質問したり意見を述べたりする。 ・多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。 					
定期考査	出題方針	教科書・副教材の内容を中心に、問題集、教材プリントなどから出題する。				
	範囲(予定)	第1回	Vision Quest II Lesson 1 ~ 10 Write it Right 1 ~ 10			
		第2回	Vision Quest II Lesson 11 ~ Activity 6 Write it Right 11 ~ 20			
		第3回	大学入学対策演習			
		第4回	大学入学対策演習			
		年度末考査				
評価の観点・評価の方法	<p>○ 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。</p> <p>○ 具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。</p>					
先生からアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)	必ず事前に予習をすること。その時、日本語から「言いたいこと」を考え、場面にあった英文を書くように心がけること。授業では、間違った点を「なぜ使えないのか」ということをしつかり理解しながら、他の表現についても学習します。音読筆写にも取り組み、力をつけていきましょう。					

年間授業計画表							
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント		
前 期	4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	目的・意図 原因・理由 結果・程度 条件 仮定・願望・依頼 譲歩・対立(1) 譲歩・対立(2) 否定 比較・比例(1) 比較・比例(2)	15	表現別に英語を書けるようにする		
			第1回考査				
			11 12 13 14 15 16 17 18 19 20		表現別に英語を書けるようにする		
			関連・除外・様態 受身・使役・可能 時間・数量・習慣 強調・疑問・推測 当然・助言・命令 自然・社会 文化・言語 人生・日常 健康・趣味 通信・情報		話題別に英語を書けるようにする		
			第2回考査				
			8 9		話題別に英語を書けるようにする		
			自由英作文・課題英作文 大学入試対策演習				
			6				
			10				
			大学入試対策演習				
後 期	11 12 1 2	11 12 1 2	第3回考査	18	話題別に英語を書けるようにする		
			大学入試対策演習				
			共通テスト対策				
			第4回考査				
			共通テスト対策 大学入試対策演習		話題別に英語を書けるようにする		
年度末考査							
総時間数			78				

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次
外国語	英語表現スルーリーディング (THR・L)		1	普通科	3
履修形態	授業形態		指導者名		
選択	一斉授業・習熟度別授業		英語科		

教科書（発行所）	
教科書以外の教材（発行所）	Reading Core for 共通テスト（啓隆社）

目標	英語の学習分野全体をバランスよく伸ばす。英文の内容を短時間に大まかにつかみ、全体の要旨をまとめる力を育てる。幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。													
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとする理解できるようにする。 日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。 													
定期考査	出題方針	教科書・副教材の内容を中心に、問題集、教材プリントなどから出題する。												
	範囲（予定）	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">第1回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>英文読解</td> </tr> <tr> <td>期末考査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>英文読解</td> </tr> <tr> <td>年度末考査</td> <td></td> </tr> </table>	第1回		第2回	英文読解	期末考査		第3回		第4回	英文読解	年度末考査	
第1回														
第2回	英文読解													
期末考査														
第3回														
第4回	英文読解													
年度末考査														
評価の観点・評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。 													
先生からアドバイス（予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など）	徹底的に反復学習する。予習・授業・復習という学習スタイルが入試を攻略する英語力につながります。すぐに辞書に頼らずに、入試さながらに、まずは、自力のみで英文を読む習慣をつけましょう。英文を速く正確に読み、要旨をつかむ練習をしていきましょう。													

年間授業計画表									
学期	月	単元名	学習内容	時数	学習のポイント				
前 期	4	1	速読・精読	6	目的に合わせて必要な情報を読み取る				
	5								
	6								
	7	第2回考査		3	登場人物の心情を読み取る				
	9	3	速読・精読						
	10								
	11	4	速読・精読	6	It の用法を見抜く				
	12								
	13								
第4回考査				39					
総時間数									

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次
英語	英語表現スルーリーディング (THR・R)		1	普通科	3
履修形態	授業形態		指導者名		
全	一斉授業・習熟度別授業		英語科		

教科書（発行所）	
教科書以外の教材（発行所）	Smart Reader Standard (いいいづな書店)

目標	英語の学習分野全体をバランスよく伸ばす。英文の内容を短時間に大まかにつかみ、全体の要旨をまとめる力を育てる。幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
----	---

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとする理解できるようにする。 日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。
--------	--

定期考査	出題方針	教科書・副教材の内容を中心に、問題集、教材プリントなどから出題する。
	範囲(予定)	第1回
		Smart Reader 1 ~ 10
		前期末考査
		第3回
		第4回 Smart Reader 11 ~ 15, 大学入学対策演習

評価の観点・評価の方法	○ 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。
	○ 具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。

先生からアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)	徹底的に反復学習しましょう。予習・授業・復習という学習スタイルが入試を攻略する英語力につながります。すぐに辞書に頼らずに、入試さながらに、まずは、自力のみで英文を読む習慣をつけましょう。速読、精読、パラグラフリーディングなど、多量の英文を目的に応じて正確に読み、要旨をつかむ練習をしていきましょう。
--------------------------------------	---

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
前期	4	1	意味のまとめをつかむ（1）	2	主格の関係代名詞で名詞を修飾
		2	意味のまとめをつかむ（2）	2	目的格の関係代名詞で名詞を修飾
		3	意味のまとめをつかむ（3）	2	所有格の関係代名詞で名詞を修飾
	第1回考査				
	6	4	意味のまとめをつかむ（4）	2	関係代名詞の前に前置詞
		5	意味のまとめをつかむ（5）	2	名詞に「主語+動詞」が直接続く
		6	意味のまとめをつかむ（6）	2	不定詞を使って名詞を修飾
	7	7	意味のまとめをつかむ（7）	2	過去分詞を使って名詞を修飾
		8	意味のまとめをつかむ（8）	2	現在分詞を使って名詞を修飾
		9	意味のまとめをつかむ（9）	2	名詞に前置詞句が続く
	9	10	意味のまとめをつかむ（10）	2	名詞修飾のポイント（節の中）
		第2回考査			
後期	10	11	意味のまとめをつかむ（11）	2	名詞修飾のポイント（文の中）
		前期末考査			
		12	意味のまとめをつかむ（12）	2	同格の that 節
	11	13	意味のまとめをつかむ（13）	2	関係代名詞 what を使った名詞節
		14	意味のまとめをつかむ（14）	2	動名詞が主語
		15	意味のまとめをつかむ（15）	2	whether を使った名詞節
	第3回考査				
	11	大学入試対策演習		7	入試発展レベルの英文読解力を養成する
		第4回考査			
	11	大学入試対策演習		2	入試発展レベルの英文読解力を養成する
		総時間数			39